

血液病レジデントマニュアル

神田善伸 著

＜書評者＞ 浦部晶夫（NTT 関東病院予防医学センター長）

新進気鋭の血液学者神田善伸教授によって書き下ろされた『血液病レジデントマニュアル』は、血液疾患全般にわたる臨床上の問題、対策、治療指針などについて、簡潔ではあるが行き届いた記述がなされた極めて便利な本である。白衣のポケットにも入るくらいの小さな本なのであるが、血液疾患のそれぞれについて、疫学、原因などにも触れた後に、診断のポイント、診断基準、病型分類などを示してから、具体的な治療方法がわかりやすく述べられている。

「レジデントマニュアル」という

名称以上の豊富な内容がコンパクトな体裁の中にぎっしりと詰まっています。レジデントばかりでなく、血液学を学びたての若い医師、臨床検査技師、看護師などにも極めて便利で有益な本である。

血液疾患の治療は難しいと考えている人が多いようであるが、本書では、鑑別診断、検査の意義、治療法選択の基準、薬剤の具体的な投与方法などが図表を上手に用いてわかりやすく説明されている。

血液疾患の重症度分類や予後分類なども図表で明快に示されてい

る。化学療法のプロトコールは、病棟の受け持ち医に役立つように、注意事項が述べられていて懇切丁寧である。

さらに、本書はレジデントや若手のドクターに便利なばかりでなく、ベテランの血液内科医にとっても、新しい診断基準や病型分類、予後分類などを確認するためや、度忘れした薬の名前を思い出すためなどに有用であり、血液診療を行う上で必携の書になると信じて推薦する次第である。

●B6 変型 頁 336 2009 年
定価 4,200 円
(本体 4,000 円+税 5%)
[ISBN978-4-260-00837-2]
医学書院 刊